

2023 年定期総会議案書

日 時：2023 年 7 月 8 日（土）

午後 13 時 10 分～午後 13 時 25 分

場 所：ドーンセンター

定期総会式次第

開会のことば

資格審査報告および総会成立宣言

議長選出

議 事

第 1 号議案「2022 年度（第 19 期）事業経過報告および会計決算報告」

第 2 号議案「2022 年度（第 19 期）会計監査報告」

第 3 号議案「2023 年度（第 20 期）事業計画案および会計予算案」

第 4 号議案「任期満了による役員改選案に関する事項」

議長解任

閉会のことば

特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

【第1号議案】「2022年度（第19期）事業経過報告および会計決算報告」

1. 事業内容

1.1 活動内容

① WG-D（草の根WG）活動の実施

WG活動は、WG-Dの草の根防災活動に集約して毎月一回程度オンライン会議として開催しました。その時々話題や、NPOの活動内容について議論しました。

② 研修会（防災講演会）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今期は防災講演会の開催を中止しました。

③ 出前講習会等

防災講演会と同様の理由で実施を見合わせました。

④ 自然災害伝承碑の情報を公開しました

会員の辻さんが調査された自然災害伝承碑の報告書をHPに掲載しました。

⑤ WG-C（地盤防災WG）活動の実施

盛土規制法の技術基準に関する情報収集や、熱海市伊豆山盛土土石流の報告書に対する意見を行政に対して出しました（2022/4/8）。また、地震時の盛土問題を取り上げたNHKスペシャル（2023/1/14）への取材協力等マスコミへの情報発信も行いました。また、盛土の技術基準に対する国会質問へのアドバイスを行いました（2022/4/5）。

⑥ 災害時連携NPO等ネットワーク行事への参加

京都府の災害時連携NPO等ネットワークシンポジウム「いま、『避難』を考える～避難現場での支援と助け合いのあり方～」に聴講参加しました。

2022年度（第19期）NPO法人都市災害に備える技術者の会

会計決算報告書（2022年4月1日～平成2023年3月31日）

特定非営利活動に係る決算報告書

（単位：円）

区分	項目	予算	決算	差額	備考
収入	会費・入会金収入	125,000	115,000	-10,000	会費18名 入会1名
	受託業務	0	0	0	
	前年度からの繰越金	2,230,755	2,230,755	0	
	雑収入	0	2	2	利息
	収入合計	2,355,755	2,345,757	-10,002	

	項目	予算	決算	差額	備考
支出	事業費	136,000	21,860	-114,140	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	5,000	0	-5,000	防災講習講師費等
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	5,000	0	-5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	5,000	0	-5,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	5,000	0	-5,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	86,000	1,180	-84,820	研修会等
	会場借用料	20,000	0	-20,000	
	印刷費等	30,000	1,180	-28,820	資料印刷
	講師旅費	30,000	0	-30,000	会員外の講師旅費
	通信費	5,000	0	-5,000	会員へのメール便送料
	その他	1,000	0	-1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	10,000	0	-10,000	講師派遣（交通費等は依頼先負担）
	前号の活動にかかる費用	20,000	20,680	680	プロバイダ料金等
	ウェブサイト費用	20,000	20,680	680	
	管理費	115,000	54,165	-60,835	
	会議費・旅費交通費・交際費	5,000	0	-5,000	
	租税公課	30,000	0	-30,000	
	備品等整備費	25,000	0	-25,000	事務用品
	消耗品費	5,000	0	-5,000	
	登記手続料	10,000	0	-10,000	理事登記費用
	会費	10,000	10,000	0	
	支払い手数料(事務局費)	30,000	44,165	14,165	事務諸費用 ZOOM サブスクリプション
支出合計	251,000	76,025	-174,975		
(単年度収支)	▲126,000	38,977			
当期収支差額（次年度繰越金）	2,104,755	2,269,732	76,025		

【第2号議案】「2022年度（第19期）会計監査報告」

2022年度（第19）NPO法人都市災害に備える技術者の会

会計監査報告書

私たち会計監査は、2022年度（第19期）NPO法人都市災害に備える技術者の会
会計の処理が、適正に実施されているか否かを監査いたしました。その結果、会計処理
は適正かつ正確に行われていたことを下記の通りご報告いたします。

記

1. 監査実施日時

2023年 6月6日

2. 監査帳簿類

活動計算書
貸借対照表
仕訳日記帳
総勘定元帳
当期の証票（領収証）
預金通帳

2023年 6月6日

監事

諸子 順子



【第3号議案】「2023年度（第20期）事業計画案および会計予算案」

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言などにより、予定していた活動が十分にできない事態に直面しました。防災講習会の開催延期、WG例会のオンライン会議への変更等の影響が出ています。防災講演会につきましては、今後の新型コロナウイルスの感染状況の収束を待って再開する予定です。

またWG例会につきましては、概ね毎月1回オンライン会議で開催しています。参加者が増え、毎月開催することにより時宜に即した鮮度の高い議論が可能となっています。

今後は、対面での例会再開を視野に入れるとともに、遠隔地からの参加者に配慮して対面とオンラインを併用した会議の開催を進めていく予定です。

1.事業計画

特定非営利活動に係る事業

【会員向け活動】

1.研修会

新型コロナウイルスの感染状況が収束したので、研修会を再開します。参加は会員のみならず、技術士会・防災士会・マスコミや一般市民へも呼びかけます。

2.発災後活動の開始

災害が発生した際には、被災地調査を実施したいと思えます。技術者の会であることがわかるようにビブスを着用して活動をする予定です。

3.ワーキンググループの活動

これまで通り、当NPO活動の中心として行っていきます。新型コロナウイルス感染症が収束するまではオンライン開催とし、その後は対面あるいはハイブリッド方式を検討していきます。

5.活動の電子化

本会の活動は、メール・WEB利用等の活用により電子的に行い省力化していきます。

【社会に向けた活動】

1.講師派遣

ご依頼に応じて防災講演等に会員等を派遣します。

2.WEB等での広報

前年度同様にイベント案内や報告をホームページやメーリングリストで情報発信するほか、各WGの活動内容も公表します。

3.マスコミとの連携

関西のマスコミの防災担当者の勉強会である「関西なまずの会」に積極的に参加させていただき、情報発信をより活発化させたいと考えています。

4.盛土関連の意見を行政等に発信

盛土関連の技術的な意見を行政等に積極的に発信するとともに、情報公開制度を活用して積極的な情報収集に努めます。

2023年度（第20期）NPO法人都市災害に備える技術者の会

会計予算案（2023年4月1日～2024年3月31日）

特定非営利活動に係る会計予算（案）

（単位：円）

区分	項目	前年度実績	予算	備考
収入	会費・入会金収入	115,000	100,000	正会員20名
	受託業務	0	0	
	前年度からの繰越金	2,230,755	2,269,732	
	雑収入	2	2	利息
	収入合計	2,345,757	2,369,734	

区分	項目	前年度実績	予算	備考
支出	事業費	21,860	211,000	
	(1)市民の立場にたった防災・減災対策の研究および啓蒙活動	0	5,000	
	(2)災害の予防から始まり、災害発生後およびその後の対処法まで含めた一貫性をもった対応への相談および対策の提案	0	5,000	
	(3)災害発生時の緊急時において、専門家集団としての行政および市民への提言	0	5,000	WG活動費
	(4)災害時要援護者に対する防災・減災を実現するための提案	0	5,000	
	(5)防災・減災イベントへの参加及び講演会や研修会等の開催	1,180	161,000	研修会等
	会場借用料	0	60,000	
	印刷費等	1,180	5,000	電子化で省力化
	講師謝礼旅費	0	90,000	会員外の講師への謝礼
	通信費	0	5,000	会員へのメール便送料
	その他	0	1,000	
	(6)防災・減災に関する教育活動の企画・運営・人材の派遣	0	10,000	講師派遣に係る費用
	前号の活動にかかる費用	20,680	20,000	
	ウェブサイト費用	20,680	20,000	プロバイダ料金等
	管理費	54,165	105,000	
	会議費・旅費交通費	0	5,000	
	租税公課	0	30,000	情報公開資料開示請求用印紙代
	備品等整備費	0	5,000	
	消耗品費	0	5,000	
	登記料	0	50,000	決算登記費用
	会費	10,000	10,000	地区防災学会
	支払い手数料(事務局費)	44,165	55,000	ZOO・サバウズ等
	支出合計	76,025	316,000	
(単年度収支)	38,977	▲ 215,998	単年度収入-支出	
当期収支差額（次年度繰越金）	2,269,732	2,053,734		

【第4号議案】任期満了による役員改選案に関する事項

任期満了に伴う役員改選を以下の通り提案いたします。なお、理事定員にはまだ余裕があるため、総会当日までに役員が増員になる可能性があります。

新役員名簿

役職名	氏名	就任期間	新任	留任	
理事	山田 信祐	2023年4月1日 ～2025年3月31日		○	
	伊藤 東洋雄			○	
	片瀬 範雄			○	
	太田 英将			○	
	廣野 一道			○	
	北 高穂			○	
	西濱 靖雄			○	
	大野 一成			○	
	田中 実			○	
	辻 謙一			○	
監事	諸戸 順子			○	
	山口 秀次			○	

定款より

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に正会員の中から次の役員を置く。

(1)理事 3人以上10人以下

(2)監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長、2人を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(任期等)

第16条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、後任の役員が選任されていない場合には、任期の末日後最初の総会が終結するまでその任期を伸張する。

3 補欠のため、又は増員によって就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。

4 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

事務局	事務所	兵庫県西宮市すみれ台3丁目1番地 (太田ジオリサーチ内) Tel 078-907-3120 Fax 078-907-3123	WEB	http://www.toshisaigai.net e-mail:office@toshisaigai.net
	理事	山田 信祐 (理事長) 伊藤 東洋雄 (副理事長) 大野 一成 (副理事長) 片瀬 範雄 太田 英将 (事務局長兼務) 廣野 一道 北 高穂 西濱 靖雄 田中 実 辻 謙一	監事	諸戸 順子 山口 秀次
	顧問	室崎 益輝 先生 河田 恵昭 先生 向井 通彦 先生		

WG活動

WG略称	テーマ	代表者	活動情報
地盤防災WG (WG-C)	地盤防災を考える	太田英将	住宅地・造成地など防災に関連した地域の地盤防災を考えます。新しい探査法等を試験します。
草の根防災WG (WG-D)	地域活動を考える	山田信祐	幼稚園から大学までの防災・減災出前授業を行っています。他の団体（自主防災組織や防災団体など）と連携して活動しています。他のWGとも連携をとって活動していきます。

定款 (通常総会に関連する部分の抜粋)

(開催)

第24条 通常総会は、毎事業年度1回開催する。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

(議長)

第26条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第27条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 各正会員の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条、次条第1項第2号及び第49条の適用については、総会に出席したものとみなす。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1)日時及び場所

(2)正会員総数及び出席者数(書面表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。)

(3)審議事項

(4)議事の経過の概要及び議決の結果

(5)議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印または記名、押印しなければならない。